

産業利用報告会 サンビーム挨拶

共同体運営委員長 林 栄治

(関西電力 研究開発室 電力技術研究所 所長)

サンビーム共同体の運営委員長を勤めさせていただいております関西電力 電力技術研究所の林でございます。本日は第4回 SPring-8 産業利用報告会に多数ご出席いただきまして、深くお礼申し上げます。共同体の代表として、ひと言ご挨拶申し上げます。

サンビーム共同体は、SPring-8 の高い材料評価能力を産業分野にも応用するため、民間 13 社が JASRI 殿と協力して、自分たち専用のビームラインを建設し、利用している団体です。1996 年に発足し、1999 年にビームラインを完成させて以来、SPring-8 の産業利用に取り組んでおりますが、特に昨年度は 2 つの大きな出来事がありました。1 つ目はサンビームの設置期間の延長を認めていただいたことです。共同体は JASRI 殿とビームライン設置に関する契約を締結させていただいておりますが、10 年間の設置期限を来年の 8 月に迎えます。共同体では、材料プロセスの改善や新製品の創出には SPring-8 は必須であり、今後とも是非 SPring-8 を活用したいということから、再契約を申し入れ、10 年間の最終評価と併せて次の 10 年間の研究計画書の審査を頂きました。この結果、幾つかのご指摘を頂きましたが、これまでの実績に対して高い評価を頂き、さらに次期計画に対しても有用性の高さを評価頂き、更なる 10 年間の設置を認めて頂きました。共同体としましては、決意を新たにして、SPring-8 の利用に邁進する所存です。

2 つ目は、共同体として、ビームライン機器の大幅改造を行うことを決議したことです。これは、共同体参加各社の利用技術が進展し、より高度な実験ニーズに対する要求が高いことや、約 10 年を経た設備の老朽化や陳腐化に対応すること、などを考慮したものです。一部の工事はすでに開始されておりますが、本格的にはこの 12 月から来年度の 5 月にかけて行い、次の 10 年を新しい装置で開始することとしております。JASRI 殿を初め、関係者の各位には、これまで同様、ご支援・ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、この報告会が皆様にとって実りあるものとなりますことを期待して、私の挨拶に代えさせていただきます。